

トピックス

18年度決算、事業報告などを原案通り認定、承認

国保連合会通常総会



京都府国保連合会の通常総会は、7月31日午後、国保連合会に36保険者の代表が出席して開かれ、平成18年度事業報告、同年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案を原案通り認定、承認した。

総会では、久保田勇理事長（宇治市長）が、挨拶の中で、「平成18年度決算は、おおむね所期の目的を達成することができた」として、府や各保険者の協力に感謝した。また、来年4月から実施される後期高齢者医療制度の審査支払、代行業務を受託できるよう、広域連合事務局と詰めていること、10月からの障害者自立支援給付支払業務が円滑に遂行できるよう準備を進めていることなどを報告した。

山田啓二府知事の祝辞（浅田良純府保健福祉部次長代読）が披露されたあと議事にはいり、議長に吉本秀樹伊根町長を選出した。議事録署名人には手仲圓容南山城村長と森清美府酒販国保組合理事長が選任された。

議案は、平成18年度報告承認事項2件、同年度報告事項1件、さらに平成19年度議決事項10件、同年度報告事項2件で、事務局の説明、監査結果報告（報告は木村要精華町長）のあと、いずれも原案通り認定、承認された。閉会の挨拶は田村康浩府国保連合会副理事長（京都芸術家国保組合理事長）が行った。

公告

平成19年7月31日、本会通常総会において認定された平成18年度一般会計、並びに各特別会計決算について、国民健康保険法施行令第36条において準用する同令第24条の規定により、次のとおり公告する。

平成19年7月31日

京都府国民健康保険団体連合会
理事長 久保田 勇